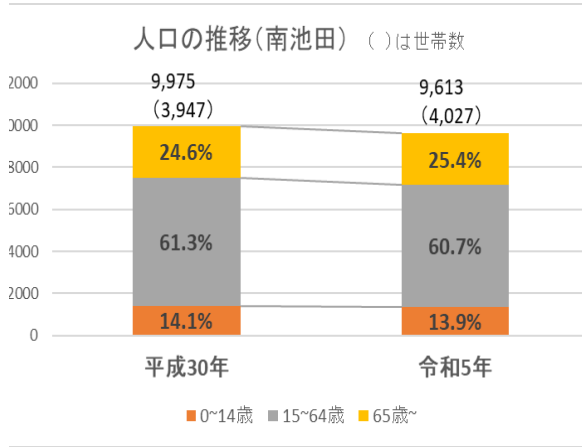


南池田校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	11
	校区社協役員数	30
	校区社協ボランティア数	145
	民生委員・児童委員数	15
	老人クラブ会員数	825
	いきいきいずみ体操数	6
	おたがいさまサポーター数	27
	高齢者見守り協力事業所数	29
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
自主防災組織の有無	有	
対象者数	ふれあい訪問利用者数	4
	誕生月訪問利用者数	163
	避難行動要支援者登録数	69

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
2.幅広い世代の人々の交流や付き合いが多いまち	
3.災害時の避難体制や避難所の運営がわかりやすく示されているまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.子育てを応援してくれる場所	2.インターネットが使えるしせつ
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.雨の日でも遊べる場所
	3.思いっきり遊べる広い公園や広場
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.子どもの登下校の見守り	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
1.子どもの居場所づくり	
2.高齢者の交流の場づくり(いきいきサロンなど)	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 地域での認知症サポーター養成講座等の開催により、認知症の理解を深めることが出来た。これからも継続していきたい。
- ❖ 若い世代による地域活動の新しいアイデア、取り組みも生まれており、それらの声を地域全体に広げていけたらと思う。

若い世代の力も借いて、地域が協力しながら、 皆が主役の笑顔あふれる地域作りを目指す

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 地域の集い場の充実と継続を目指す

【具体的な取り組み】

- いきいきサロンに広い世代が参加、交流できる形や、お寺など、地域の住民が集える場の開拓も検討する
- 男性のサロン参加率が低い地域もあるため、男性が参加しやすいサロン等の交流の場作りも検討する
- 認知症サポーター養成講座など、地域をよりよくするための学びの場の継続や、楽しさも加えていく

重点取り組み②

【目 標】 子どもから大人まで、皆が楽しみ交流できる場を増やす

【具体的な取り組み】

- 校区全体での輪投げ大会等のニュースポーツ大会等、子どもから大人まで楽しめる催しを開く
- 子どもが気軽に集える場作り（例えば駄菓子屋のような場）やママ達の交流の場ともなるような居場所作りも検討する
- 子どもが主役の集い場（サロン）の企画やその呼びかけ方も考える

重点取り組み③

【目 的】 地域の団体が情報共有し、連携、協力できるきっかけを作る

【具体的な取り組み】

- 地域の関係団体の活動や想いを知り、情報共有するため、テーマを定めて話し合いの場を作る
- 話し合いの場に、既存の団体の代表者だけでなく、若い世代にも参加してもらい、若いアイデアを地域のために取り込んでいく
- 地域活動の情報発信について、多くの世代に届くよう工夫し、SNS等の新しい取り組みの取り入れも検討する

